

平成27年度卓話集会におけるディスカッションの概要

No.	地区名	質問・要望・提案	回答
1	虫窪	最近の若者はなぜ結婚しないのか。結婚しないから子供ができないし、高齢化が進むのではないか。これは環境の問題でもあるんじゃないか。	子供を預けて働ける環境や働きやすい環境を作っていく必要がある。 大磯では一度外に出て行っても、結婚や子育てなどを機にまた戻ってくるような傾向もある。
2	虫窪	年を取ると買い物が大変になるので、店を作るか、移動販売車を出してもらえないのか。	お店を作っても買わないと店が無くなってしまう。 以前、石神台にあったスーパー跡地で移動販売などが行われていたこともあったが、定着しなかったようだ。必要であるならば声をかけてほしい。できるかどうかはわからないが話し合いをしていきたい。
3	虫窪	平塚市のあさつゆ広場の直売所のように大磯にも直売所を設置できないか。	134号線の車線が増えたり、圏央道の開通により、町外や県外から多くの人がある可能性が増えた。農家の人たちが作ったものを販売できるような形も考えていくが、皆さんにも考えていただきたい。
4	虫窪	地域経済が活性化するような産業振興策をどのように考えているのか。例えば、ブランド野菜などを作り販売していけば、地域の活性化にもつながると考えるが、農家にはノウハウがないので、町でバックアップをお願いしたい。	産業振興や地域経済が活性化するためには、単に大きな企業誘致ではなく、起業や創業支援など、町にあったコミュニティビジネスの創出も考えていかなければならないし、そしてこのような取り組みを雇用の創出につなげていきたい。また、農家さんがブランド化などに向け、やる気を示してもらえば、ノウハウを持っている人を紹介するなど、協力することは可能である。
5	虫窪	町がブランド野菜などのノウハウを持った人を雇い指導したりすることはできないのか。	町で雇用するのは難しいが、専門的な技術等も有している県へ相談するなど、やり方はあるので相談してもらいたい。
6	虫窪	多目的ホールではなく、100人200人規模のコンサートホールは作れないのか。	町でコンサートホールなどを整備する計画はないが、収容人数が200人程のホールであれば、大磯駅前に「海の見えるホール」があり、町も行事等でも利用させてもらっている。 割と幅広く利用されている状況にある。コンサートは出来ないが、旧吉田茂邸が再建されれば、30人程度集まれる研修室もできる。

No.	地区名	質問・要望・提案	回答
7	虫窪	経済観光課の職員が年に一回位町の経済について説明する機会を設けてもらっても良いのではないかな。	農業関係者とは年に数回話し合いや説明等の機会があるので、その機会を利用して意見などを出してもらいたい。
8	虫窪	柑橘部会をはじめとする様々な部会や総会に以前は町の職員は出席していたが、今は出席しないのは何故なのか。	時間を設けていただければ、改めて説明のために伺いたい。
9	虫窪	恒道園に対する町からの補助などはあるのか。	施設運営などに対する町からの補助や助成はないが、介護保険事業者として制度に基づく実施分の給付を行っている。
10	虫窪	町民はあまり入所していないと聞いているが、町民の入所状況はどうなのか。	現在は稼働率は90%を超えており、入所者の7割は大磯の方、残りは二宮、近隣の市町の方の順になっていると思う。
11	虫窪	大磯町民は優先的に施設に入ることができないのか。	町民だから何が何でも優先的に入所できるようなことにはなっていない。
12	虫窪	健康づくりのための健康器具を、高齢者が集う「さざんか荘」に設置したらどうか。また、公園にも設置したらどうか。	運動公園や一部の公園には既に運動器具が設置されている。 運動機能の維持への取組みは非常に重要であり、提案いただいた事項は考えていく。 町では、現在、特定健診の時にロコモイルという運動機能測定検査を無料で行っている。この取組みにも皆さんぜひとも参加いただきたい。